



# 校長室だより



～【基盤】生徒の安全・安心をもとに 挑戦する心を楽しもう！～

始業式・入学式から約二週間があつという間に過ぎました。新しい環境にもなれ、一学期開始時の多くの変化に少しずつ慣れてきたことだと思います。特に79名の1年生の皆さんは、まだまだわからないことや知らないことがたくさんあるかと思いますが、先生方や先輩方から教えてもらいながら、鹿中の伝統を引き継ぎ、一つずつ覚えていってこれればと思います。

新年度スタートに当たって、始業式・入学式の式辞の中で話した、大切にしてほしいことを改めて紹介します。

## 【始業式・入学式式辞より】

鹿ノ台中学校では、前校長先生のもと、「学校は、安心・安全にすごせる場所」であることを基本として大切にしてきました。

- ・安心して教室に入り、安全に毎日を過ごせる。
- ・困ったときに、「助けて」と言える。



この土台があるからこそ、みなさんは思い切って学校生活を送ることができると思います。そして生徒一人一人が安心して登校し、心身ともに安全が守られている環境があつてこそ、学びも人との関わりも深まります。この考え方は、これからも変わることなく、本校の教育の柱であり続けます。

そして、本年度、皆さんに大切にしてもらいたい合言葉があります。それは、

## 「楽しくなければ〇〇じゃない」

という言葉です。

ここで言う「楽しい」とは、決して楽なことだけを意味するものではありません。安心できる場所で、本気で取り組み始めるからこそその楽しさです。仲間と力を合わせて何かをやり遂げたとき、努力を重ねて少しずつできるようになったとき、時には失敗をしても前に進もうとするとき、そのような時に感じる、「うれしい」、「やってよかった」という気持ちこそが、本当の楽しさだと私は考えています。そして、その瞬間を生み出すために、皆さんにはいろんなことに挑戦してほしいと思います。

- ・発言して、うまく言えなくてもいい
- ・役割を引き受けて、うまくできなくてもいい
- ・勉強や部活で、思うような結果が出なくてもいい

挑戦するということは、失敗してもいいということです。むしろ、失敗しない挑戦なんてありません。うまくいなくても大丈夫です。それは「やった証拠」になるのです。失敗は、恥ずかしいことではありません。

何もしなかったことの方が、もったいないです。

鹿ノ台中学校は、失敗しても、やり直せる場所でありたいと思っています。

だからこそ、安心・安全な学校の中で、どんどん挑戦してください。



## 【保護者の皆様へ】

令和8年度第16代校長に着任いたしました海老毅と申します。鹿ノ台中学校で4年間教頭として勤務し、生徒たちとともに過ごさせていただきました。立場は変わりますが、いつまでも生徒たちのそばに寄り添えるし存在であり続けたいと考えております。生徒とともに教職員一丸となって、『楽しくなければ鹿中じゃない!』のスローガンのもと、様々な教育活動に取り組む所存です。どうか、ご理解とご支援のほど、お願いいたします。

≪学校の様子は、本校公式X、ウェブサイトを通じて保護者の皆様・地域の方々に  
随時お伝えさせていただいております。以下のQRコードからご覧ください≫

公式X



鹿ノ台中学校ウェブサイト

